

平成30年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成30年6月20日（水）
19時00分～20時30分
場 所：生涯学習センター

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、矢吹防災安全室長、米山生活環境課長、井上防災安全室主幹、内藤生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木主幹、柏木主任主事

参加者数：21人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) 土砂災害・洪水ハザードマップについて 防災安全室長より説明

(2) ごみの減量化について 生活環境課長より説明

【質疑・応答】

○ 段ボールコンポストは、雨など濡れる場所はまずいのか？土もセットされているのか？

→ 風通しがよく、雨に濡れないところに置く。土もセットされています。

○ 土砂災害について、町民に周知されているのか？高齢者の方にもわかるように説明してほしい。出前講座はあるが、出向いての周知が必要ではないか？避難場所も人口17,000人が避難できるのか？先日の大阪での地震で、親戚が住んでいるが、水がとても必要だと言っていた。備蓄するよう周知が必要ではないか？

ごみの減量化について、数年前に出前講座をしてもらい、ゴミの処理関係に税金が3億円ぐらいかかることがわかった。このことを町民の方が知っていれば、ゴミの減量化に協力するのではないか？

広報等でもっとPRするべきではないか？（高齢者でもわかるよう文字を強調するとか）

→ 出前講座のほか、高齢者が集まる元気会などでも説明できればと考える。飲料水については、防災の日、安心メール等で保存するよう個人の備蓄についてお願いしている。町内避難所は6カ所あるが、17,000人が収容できるとは考えていない。自宅で避難の方や町外に避難する方もいると思

われる。ただ、避難所が不足する場合は、近隣・広域支援の対応をとることとなる。
水道事業者としては、避難所には地下式の貯留槽があり、配水できる水であれば配水していく。ごみについては、先日ももっとPRした方が良いとの意見をもらっているので、これからもわかるように周知していきたい。

○ 雑紙は既に実施しているのか？

→ 古紙布の日で実施している。袋に入れてもらえれば収集している。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ